2025年3月期
決算ダイジェスト

豊和銀行

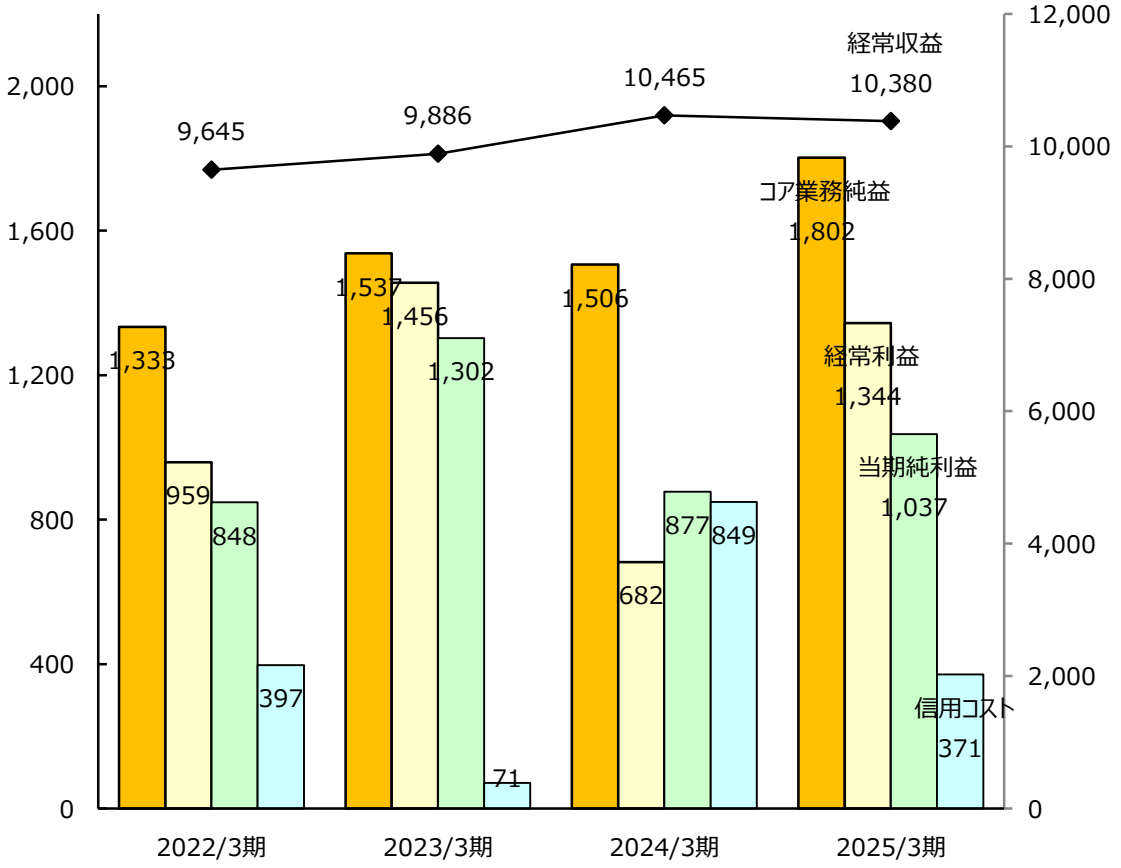
目次

1．2025年3月期決算ハイライト ・・・

1．2025年3月期決算ハイライト

主要指標の推移

（単位：百万円）



・当事業年度は前年度比、**減収増益決算**となりました。

・なお、減収増益決算は経常利益ベースでは、2022年3月期以来、3年ぶり、当期純利益ベースでは、2019年3月期以来、6年ぶりとなります。

・**コア業務純益**は**前年度比2億95百万円増加**し、18億2百万円となりました。

【経常収益の減収要因】
・株式等売却益（△341百万円）及び貸倒引当金戻入益（△289百万円）の減少等による**その他経常収益の減少**（△513百万円）

【経常利益（当期純利益）の増益要因】
・**営業経費の減少**（△136百万円）
・貸出金償却の減少に伴う**信用コストの減少**（△478百万円）

2．損益の状況

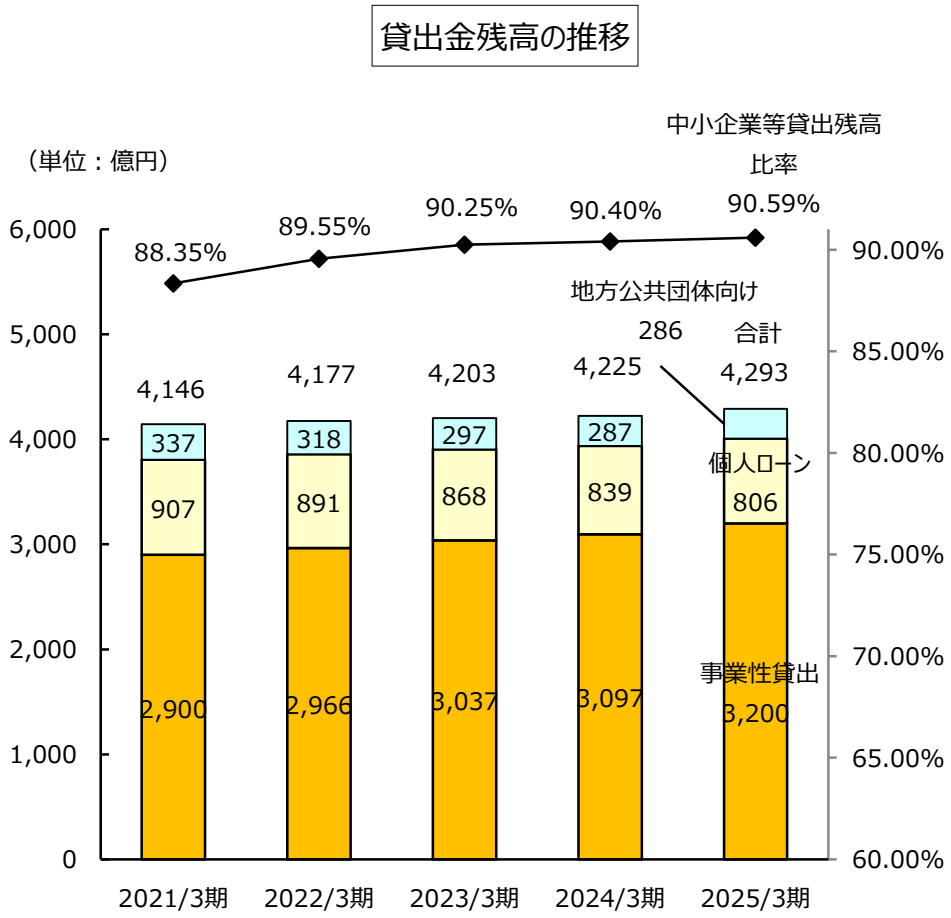
（単位：百万円）

		2025年3月期	2024年3月期比	2024年3月期
経常収益	1	**10,380**	△ 85	10,465
（貸出金利息）	2	**7,724**	180	7,543
（有価証券利息配当金）	3	**609**	54	555
（役務取引等収益）	4	**1,341**	155	1,186
業務粗利益	5	**8,238**	479	7,758
[コア業務粗利益] 5 - 10	6	[**8,348**]	[158]	[8,189]
資金利益	7	**8,159**	△ 0	8,159
役務取引等利益	8	**208**	175	33
その他業務利益	9	**△ 129**	305	△ 434
（国債等債券損益）	10	(**△ 110**)	(320)	(△ 431)
経費（除く臨時処理分）(△)	11	**6,545**	△ 136	6,682
（人件費）(△)	12	**3,679**	34	3,645
（物件費）(△)	13	**2,426**	△ 150	2,577
一般貸倒引当金繰入額 (△)	14	**△ 292**	△ 292	—
業務純益 5 - 11 - 14	15	**1,984**	908	1,075
コア業務純益 6 - 11	16	**1,802**	295	1,506
コア業務純益（除く投資信託解約損益）	17	**1,804**	318	1,485
臨時損益	18	**△ 639**	△ 246	△ 393
（不良債権処理額）(△)	19	**663**	△ 186	849
（貸倒引当金戻入益）	20	**—**	△ 289	289
（貸出金償却）(△)	21	**530**	△ 763	1,293
（株式等損益）	22	**23**	△ 429	453
経常利益	23	**1,344**	662	682
特別損益	24	**△ 216**	△ 185	△ 30
税引前当期純利益	25	**1,128**	476	651
法人税等合計 (△)	26	**90**	316	△ 225
当期純利益	27	**1,037**	160	877
<信用コスト> 14 + 19 (△)	28	<**371**>	<△ 478>	<849>

主な増減要因等

項目名	項目番号	当期実績（百万円）	前年度比（百万円）	増減要因
経常収益	1	10,380	△ 85	株式等売却益及び貸倒引当金戻入益（20）の減少によるもの
コア業務粗利益	6	8,348	+158	役務取引等収益（4）の増加等に伴い、役務取引等利益（8）が増加したこと等によるもの
経費	11	6,545	△ 136	物件費（13）の減少等によるもの
コア業務純益	16	1,802	+295	コア業務粗利益（6）の増加及び経費（11）の減少によるもの
経常利益	23	1,344	+662	コア業務純益（16）の増加及び信用コスト（28）の減少等によるもの
当期純利益	27	1,037	+160	経常利益（23）の増加等によるもの
信用コスト	28	371	△ 478	不良債権処理額（19）の減少等によるもの

3．貸出金の状況①



（単位：百万円,%）

	2025年3月末		2024年3月末
		2024年3月末比	
貸出金残高 ①	429,303	6,797	422,506
事業性貸出	320,021	10,258	309,762
個人ローン ②	80,641	△ 3,317	83,958
住宅ローン	59,544	△ 3,425	62,970
その他ローン	21,096	108	20,988
地方公共団体向け	28,641	△ 144	28,785
個人ローン貸出比率 ②÷①	18.78	△ 1.09	19.87
中小企業等貸出残高 ③	388,944	6,961	381,982
中小企業等貸出比率 ③÷①	90.59	0.19	90.40

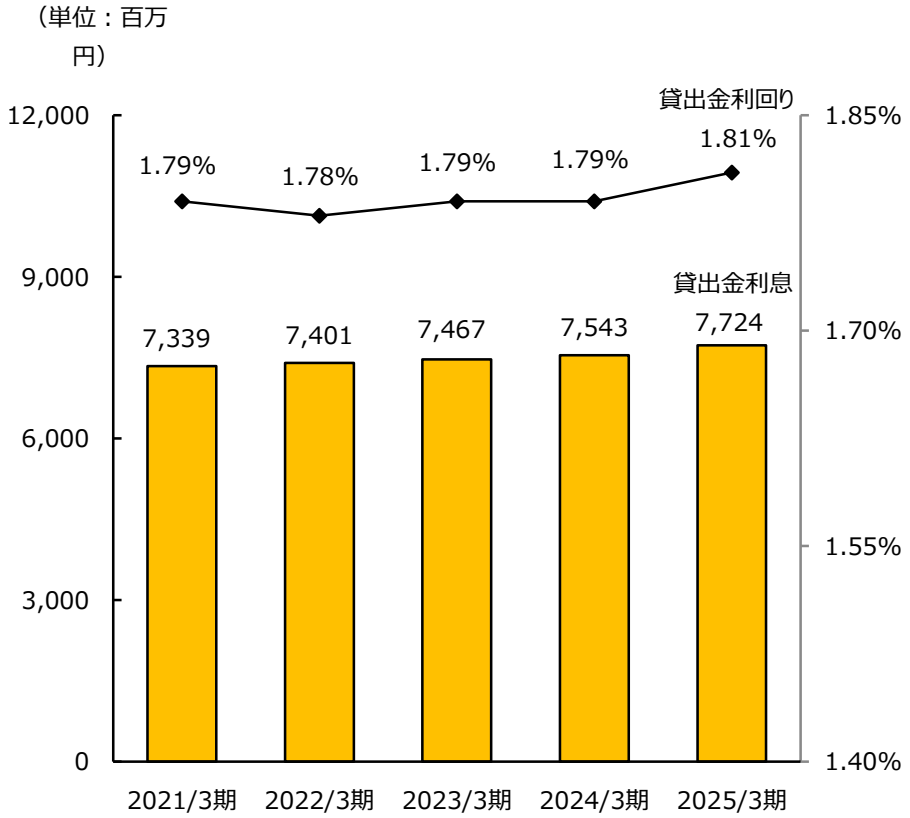
・**貸出金残高**は、**事業性貸出の増加額（前年度末比102億58百万円の増加）**が、**個人ローンの減少分をカバーした**ことで、前年度末比**67億97百万円増加**し、**4,293億3百万円**となりました。

・**個人ローン**は**住宅ローンの減少**（前年度末比34億25百万円の減少）により、**33億17百万円減少**し、**806億41百万円**となりました。

・**中小企業等貸出残高**は、地域の中小企業のお客さまに対する円滑な資金供給に努めた結果、**前年度末比69億61百万円増加**し、**3,889億44百万円**となりました。

3．貸出金の状況②

貸出金利息の推移



（単位：百万円,%）

	2025年3月期		2024年3月期
		2024年度比	
貸出金平残	424,928	5,312	419,616
貸出金利回り	1.81	0.02	1.79
貸出金利息	7,724	180	7,543

・**貸出金平残**は前年度比**53億12百万円増加**し、**4,249億28百万円**となりました。

・**貸出金利回り**は前年度比**0.02ポイント上昇**し、**1.81%**となりました。

《短期プライムレートの引き上げ状況》

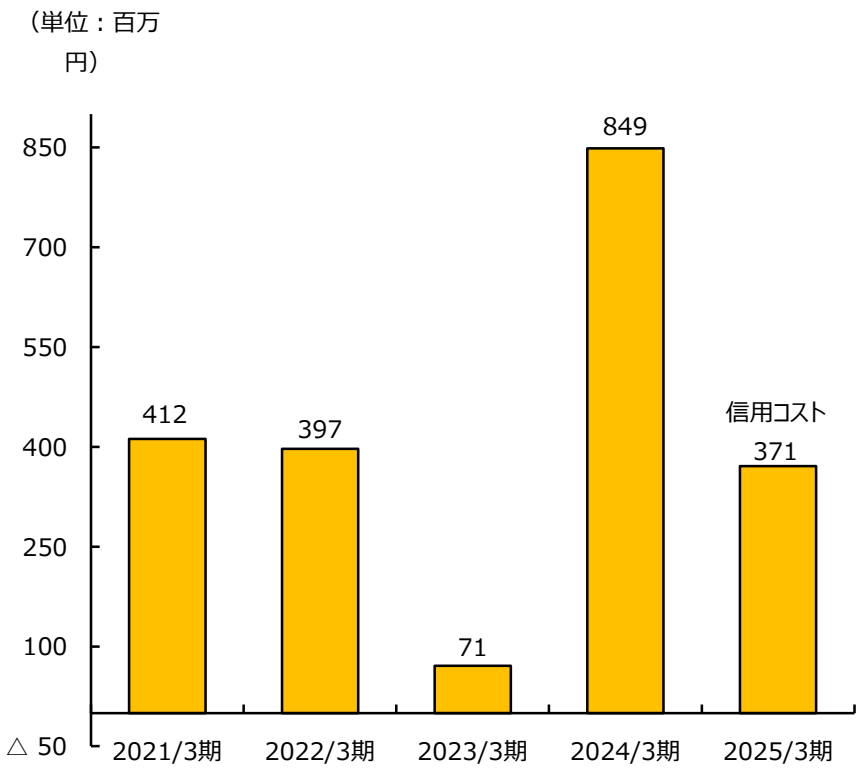
・2024.10.1　＋0.15ポイント

・2025.3.24　＋0.25ポイント

・**貸出金利息**は**貸出金利回りの上昇**及び**平残の増加**により、前年度比**1億80百万円増加**し、**77億24百万円**となりました。

4．信用コストの状況

信用コストの推移



（単位：百万円,%）

	2025年3月期	2024年度比	2024年3月期
一般貸倒引当金繰入額 ①	△ 292	△ 292	― （△ 78）
不良債権処理額 ②	663	△ 186	849
貸出金償却	530	△ 763	1,293
個別貸倒引当金繰入額	343	343	― （△ 210）
債権売却損益（△）	2	0	1
貸倒引当金戻入益（△）	―	△ 289	289
償却債権取立益（△）	301	102	199
その他不良債権処理額	94	47	46
信用コスト ① + ②	371	△ 478	849

（注）不良債権処理額＝貸出金償却＋個別貸倒引当金繰入額－債権売却損益－貸倒引当金戻入益－償却債権取立益＋その他不良債権処理額

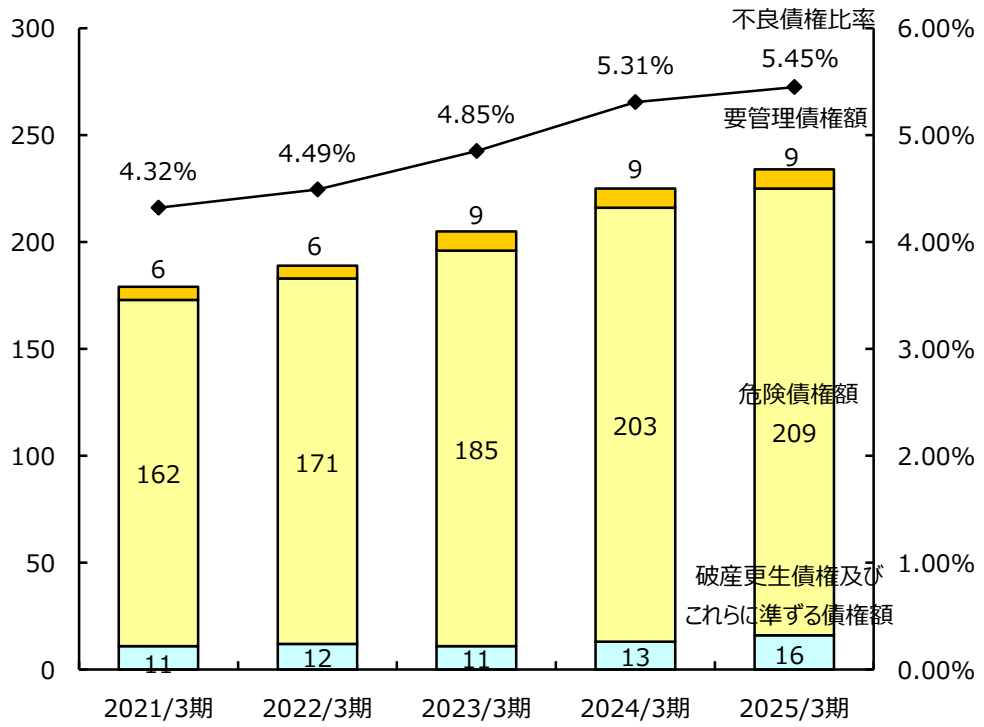
・**破綻懸念先の個別貸倒引当金の引当方法の見直し（386百万円の引当増）**により**個別貸倒引当金繰入額は増加したものの、貸出金償却の減少**等により、**信用コスト**は前年度比**4億78百万円減少し3億71百万円**となりました。

・前事業年度は一般貸倒引当金戻入額(78百万円）と個別貸倒引当金戻入額(210百万円)の合計で**戻入超過**となったため、その合計額(289百万円)を貸倒引当金戻入益として経常収益に計上しておりました。当事業年度は、一般貸倒引当金戻入額(292百万円）と個別貸倒引当金繰入額(343百万円)の合計で**繰入超過**となったため、個別に計上しております。

5．不良債権の状況①

不良債権残高及び比率の推移

（単位：億円）



（単位：百万円,%）

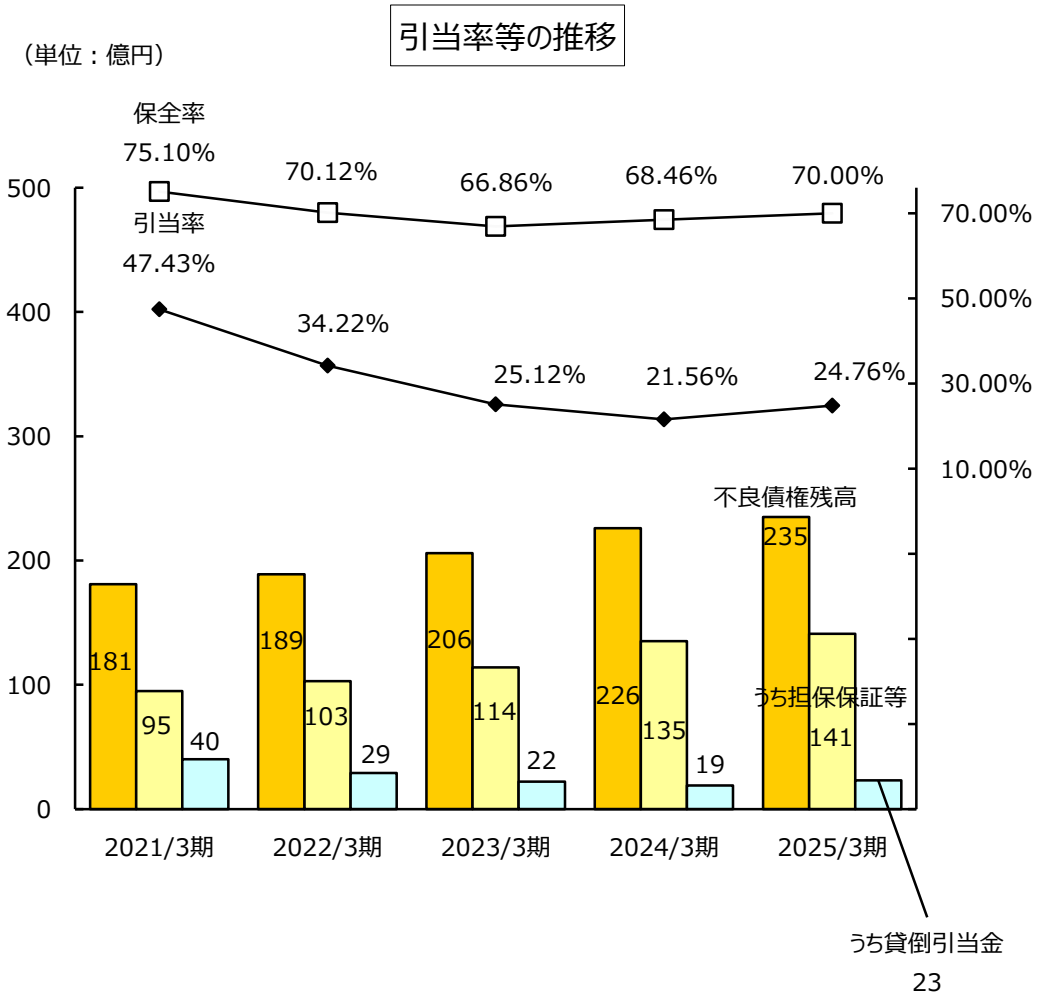
不良債権（金融再生法開示債権）の状況

	2025年3月末	2024年3月末比	2024年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権額	1,653	342	1,311
危険債権額	20,960	636	20,323
要管理債権額	982	△ 16	998
三月以上延滞債権額	—	—	—
貸出条件緩和債権額	982	△ 16	998
不良債権残高計①	23,597	963	22,633
正常債権額	408,718	5,125	403,593
総与信額②	432,315	6,088	426,227
不良債権比率①÷②	5.45	0.14	5.31
保全率	70.00	1.54	68.46

・物価高や人手不足の影響等により、経営状況が悪化したお取引先が増加したことにより、危険債権額等が増加し、**不良債権残高**は、前年度末比**9億63百万円増加**し、**235億97百万円**となりました。

・**不良債権比率**は、前年度末比**0.14ポイント上昇**し、**5.45%**となりました。なお、部分直接償却を実施しない場合の同比率は6.17%となります。

5．不良債権の状況②



（単位：百万円,%）

不良債権（金融再生法開示債権）の保全状況

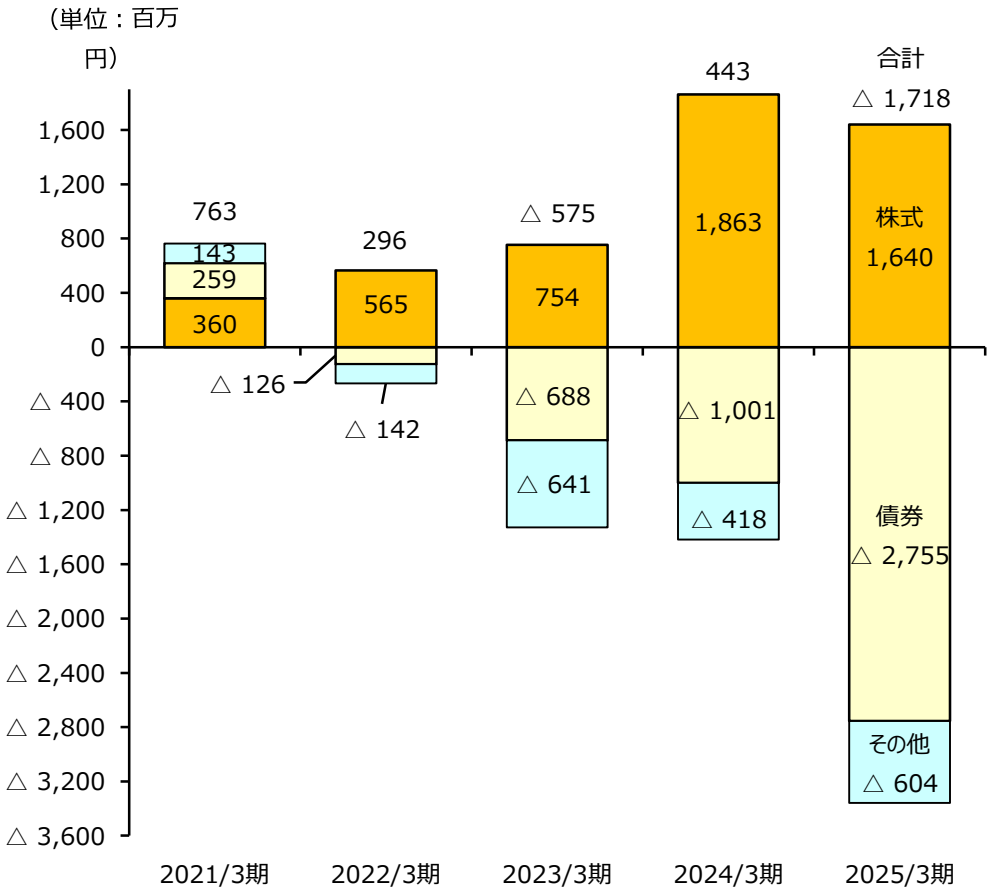
	2025年3月末	2024年3月末比	2024年3月末
不良債権残高　A	23,597	963	22,633
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	1,653	342	1,311
危険債権	20,960	636	20,323
要管理債権	982	△ 16	998
保全額　B＋C	16,519	1,023	15,495
担保保証等　B	14,189	657	13,532
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	1,583	367	1,215
危険債権	12,449	285	12,163
要管理債権	157	4	153
貸倒引当金　C	2,329	366	1,962
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	70	△ 25	95
危険債権	2,054	307	1,747
要管理債権	204	84	120
引当率　C/(A－B)	24.76	3.20	21.56
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	100.00	—	100.00
危険債権	24.13	2.72	21.41
要管理債権	24.80	10.60	14.20
保全率　(B＋C)/A	70.00	1.54	68.46
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	100.00	—	100.00
危険債権	69.19	0.75	68.44
要管理債権	36.84	9.48	27.36

・不良債権の**引当率**は、前年度末比**3.20ポイント上昇**し、**24.76%**となりました。

・不良債権の**保全率**は、前年度末比**1.54ポイント上昇**し、**70.00%**となりました。

6．有価証券の状況①

その他有価証券評価差額金の推移



その他有価証券評価差額金（税効果考慮前）　（単位：百万円）

	2025年3月末	2024年3月末比	2024年3月末
有価証券	△ 1,718	△ 2,162	443
株式	1,640	△ 222	1,863
債券	△ 2,755	△ 1,753	△ 1,001
その他	△ 604	△ 185	△ 418

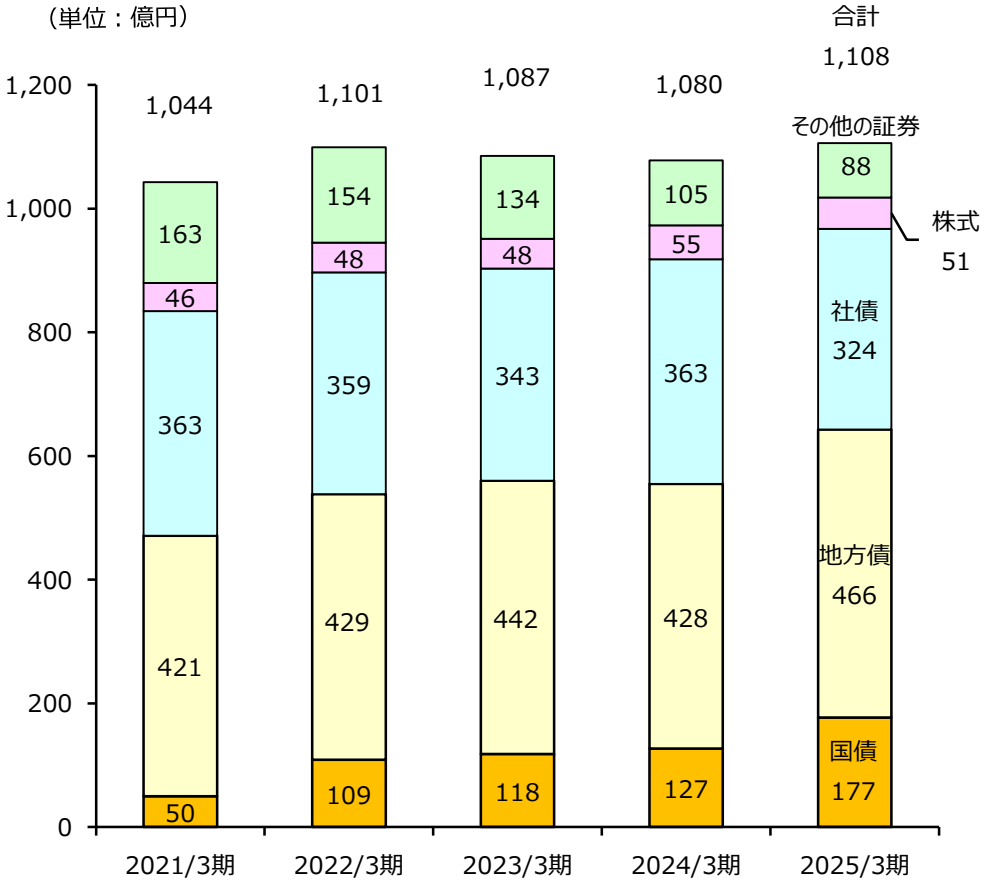
・**株式の評価額**は**16億40百万円の評価益**となりました。他方、金利上昇に伴う債券価格の下落等により、**債券の評価損**は拡大し、**27億55百万円の評価損**となりました。

・その結果、**その他有価証券評価差額金（税効果考慮前）**は前年度末の**4億43百万円の評価益**が**21億62百万円減少**し、**17億18百万円**の**評価損**となりました。

・なお、その他有価証券の**デュレーション**は前年度末比**0.22年短縮化され、3.20年**となりました。

6．有価証券の状況②

有価証券残高の推移



残高

（単位：百万円）

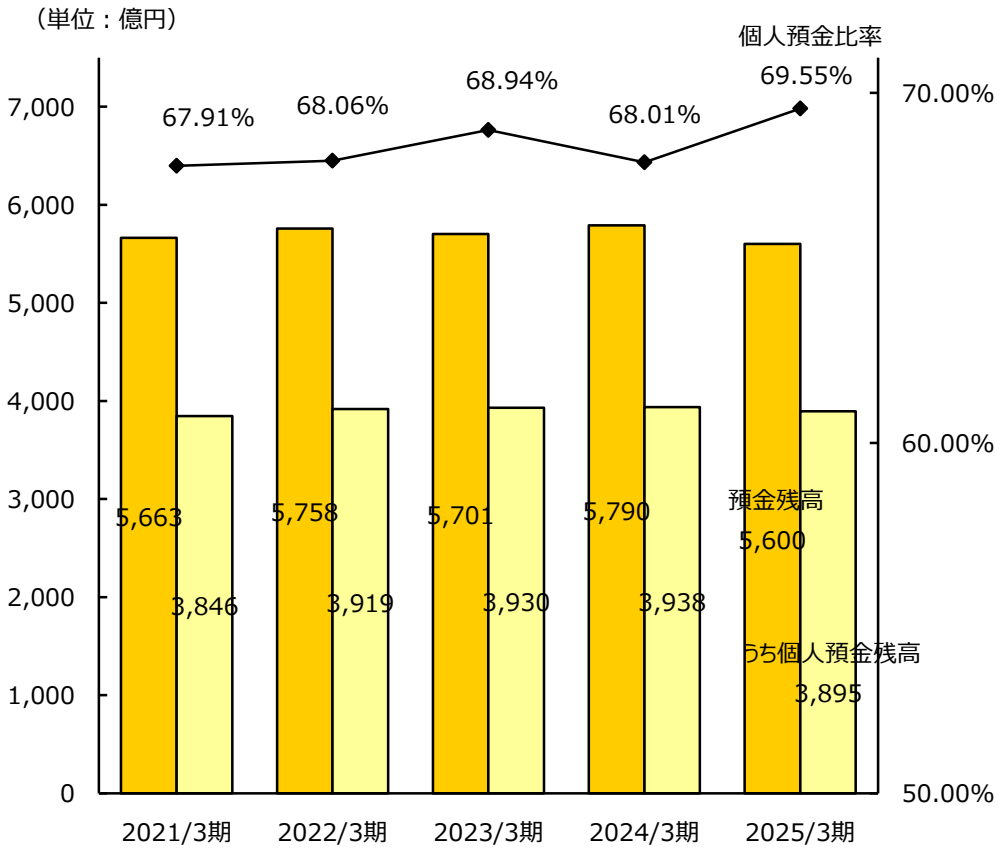
	2025年3月末	2024年3月末比	2024年3月末
有価証券	110,842	2,793	108,049
国債	17,742	4,996	12,746
地方債	46,641	3,772	42,869
社債	32,428	△ 3,950	36,379
株式	5,173	△ 332	5,506
その他の証券	8,855	△ 1,691	10,547

・有価証券残高は前年度末比27億93百万円増加し、1,108億42百万円となりました。

・市場環境の不透明感が増していることを踏まえ、信用リスクを抑制するとともに流動性の向上を図るため、**国債、地方債を増やしました。**

7．預金（譲渡性預金を含む）の状況

預金残高の推移



（単位：百万円,%）

	2025年3月末	2024年3月末比	2024年3月末
預金残高 ①	560,061	△ 18,972	579,033
個人預金 ②	389,571	△ 4,285	393,856
法人預金	170,490	△ 14,687	185,177
うち一般法人預金	153,783	△ 715	154,498
うち公金預金	15,956	△ 13,794	29,750
うち金融機関預金	750	△ 177	927
個人預金比率 ②÷①	69.55	1.54	68.01
大分県内預金残高	539,587	△ 19,822	559,410

（注）預金には譲渡性預金を含んでおります。

・個人預金と法人預金がともに減少したことから、預金残高は前年度末比189億72百万円減少し、5,600億61百万円となりました。

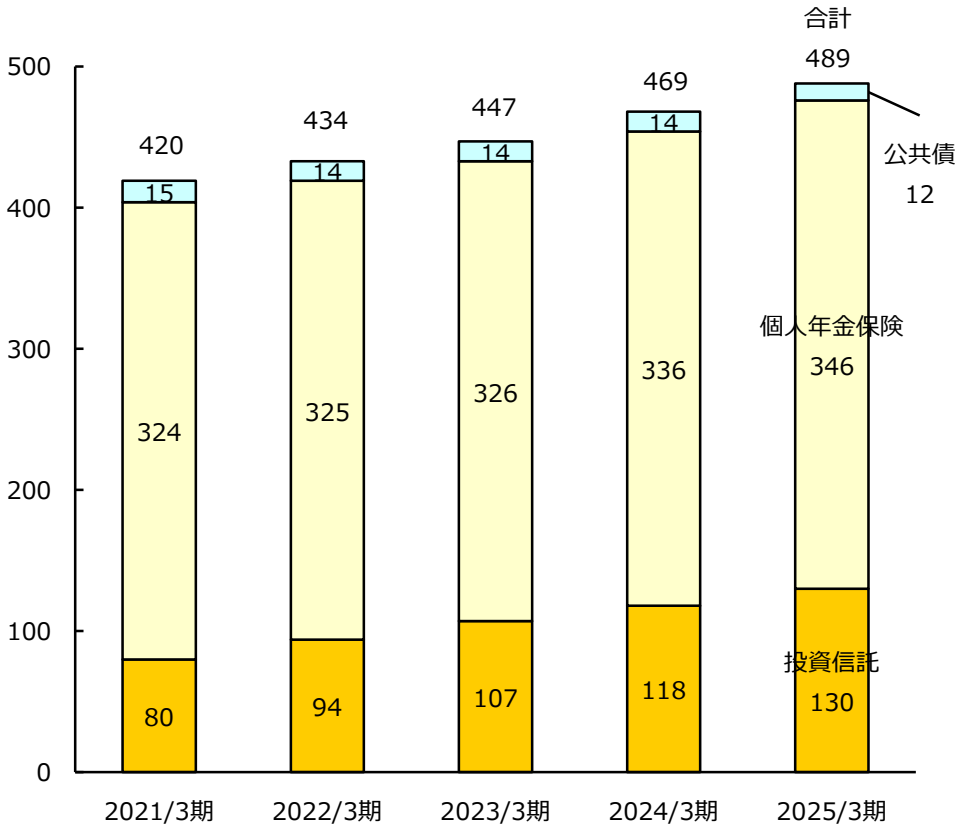
・法人預金については、主に地公体等の公金預金（NCDを含む。前年度末比137億円の減少）を中心に残高が減少しております。

《普通預金の金利引き上げ状況》
- ・2024.4.1　変更後 0.02%
- ・2024.9.2　変更後 0.10%
- ・2025.3.24　変更後 0.20%

8．預り資産の状況

預り資産残高の推移

（単位：億円）



（単位：百万円）

	2025年3月末	2024年3月末比	2024年3月末
預り資産残高	48,919	1,945	46,974
投資信託	13,036	1,208	11,828
個人年金保険	34,665	986	33,678
公共債	1,217	△ 249	1,467

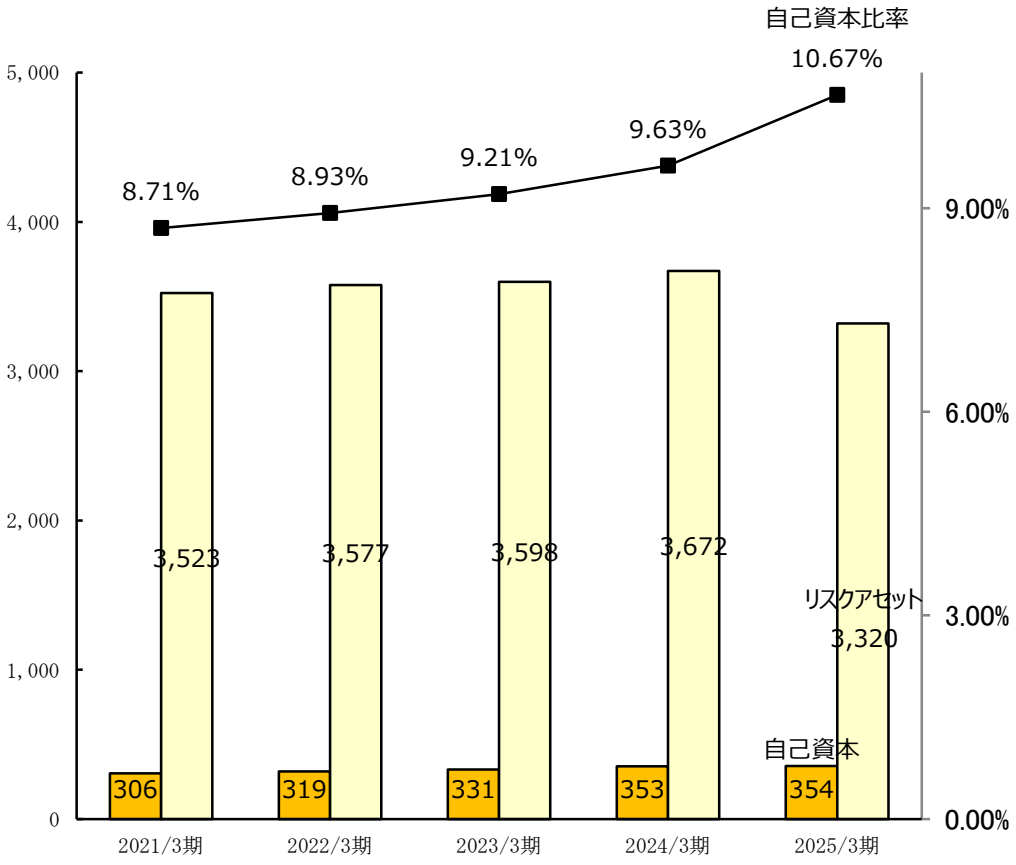
（注）個人年金保険商品については、残高の把握が困難なことから、販売累計額を使用しております。

・**投資信託残高**は前年度末比**12億08百万円増加**、**個人年金保険**は同**9億86百万円**増加しました。

・**NISA口座の口座数**は前年度末比**961口座増加**し**5,004口座**となり、残高は前年度末比**8億7百万円増加**し**31億20百万円**となりました。

9．自己資本比率

自己資本比率の推移



（単位：百万円,%）

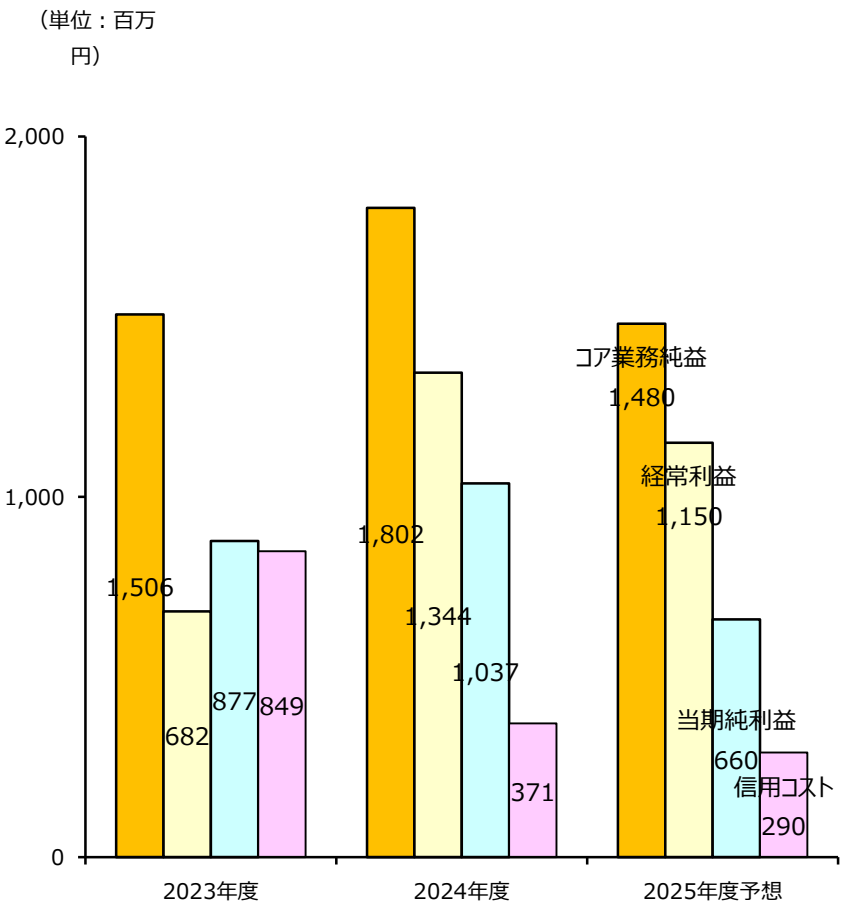
	2025年3月末 [速報値]	2024年3月末比	2024年3月末
自己資本比率 ① ÷ ②	10.67	1.04	9.63
自己資本 ①	35,447	65	35,382
リスクアセット ②	332,060	△ 35,232	367,292

・リスクアセットが352億32百万円減少し、自己資本額が65百万円増加した結果、**自己資本比率**は**前年度末比1.04ポイント上昇**し、**10.67%**となりました。

・なお、**当事業年度末より、バーゼルⅢ最終化（信用リスク・アセットに係る標準的手法の見直し）に準拠しております。**

10. 業績予想

業績（予想）の推移



（単位：百万円）

	2024年度 第2四半期 累計期間実績	**2025年度 第2四半期 累計期間予想**	2024年度 実績	**2025年度 通期予想**	増減
経常利益	1,004	**500**	1,344	**1,150**	△ 194
当期（中間）純利益	888	**390**	1,037	**660**	△ 377
業 務 純 益	859	**590**	1,984	**1,370**	△ 614
業務純益（一般貸倒引当金繰入前）	859	**560**	1,692	**1,280**	△ 412
コア業務純益	903	**660**	1,802	**1,480**	△ 322
信用コスト	△ 165	**130**	371	**290**	△ 81
（一般貸倒引当金繰入額）	—	△ **30**	△ 292	△ **90**	202
（不良債権処理額）	△ 165	**160**	663	**380**	△ 283

(注)業績予想については、当行が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

・経常利益は人件費及び物件費等の営業経費の増加を見込み、前年度比1億94百万円減少の11億50百万円としております。

・当期純利益は前年度比3億77百万円減少の6億60百万円としております。

・2025年度の業績予想については、米国トランプ政権の関税政策の動向や日本銀行の金融政策等が今後の日本経済・地域経済へどのような影響を及ぼすか現状では見通せないことから、当行が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいて算出しております。

11. 経営強化計画の達成状況

（単位：百万円、%）

	2025年3月期	経営強化計画比	経営強化計画
コア業務純益	1,802	281	1,521
業務粗利益経費率	63.43	△ 2.09	65.52

・2025年3月期は経営強化計画（2022年度～2024年度）の最終年度であり、経営の改善目標である「コア業務純益」と「業務粗利益経費率」は2項目とも計画を達成する見込みです。